

フクビ
プラ木レン 直張工法
施工要領書

フクビ化学工業株式会社

(目 次)

1. 適用範囲	2
2. 製品概要		
2-1 工法概要	2
3. 材 料		
3-1 材質	3
3-2 捨張合板仕様	3
3-3 床高さ調整範囲	4
4. 施工手順	5
5. 施工検査表	7

1. 適用範囲

本仕様書は乾式二重床床下地「プラ木レン 直張工法」の工事に適用する。

フクビ プラ木レン 直張工法シリーズ

「プラ木レン-0A」「プラ木レン-1A」「プラ木レン-2A」「プラ木レン-3A」

「プラ木レン-4A」「プラ木レン-5A」「プラ木レン-6A」「プラ木レン-7A」

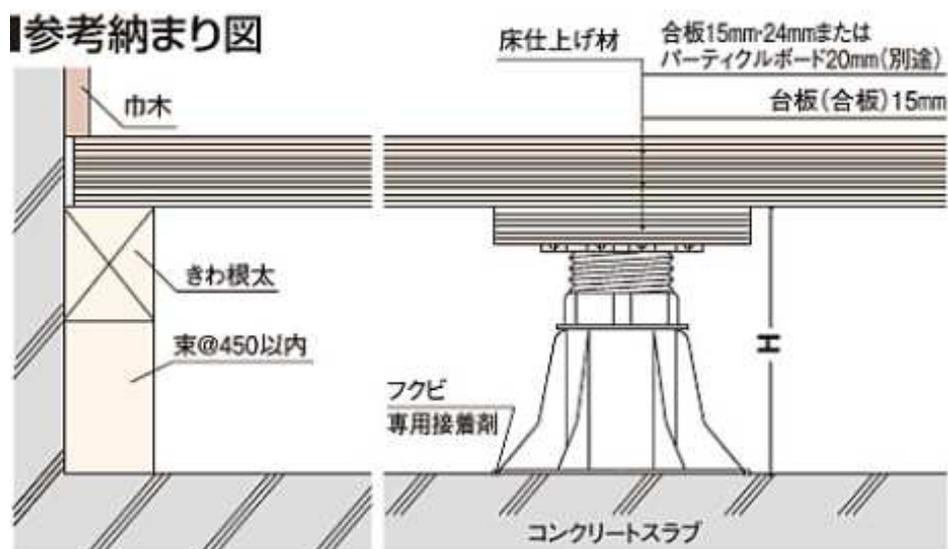
「プラ木レン-8A」

2. 製品概要

2-1 工法概要

2枚以上の台板もしくはパーティクルボードの床パネルが一つの支持脚（プラ木レン）を共用する「共通支持脚工法」で、床パネルの上に直接フローリングを施工する工法です。

支持脚は15mm合板の台板と樹脂製のナット、ボルトからなり、台板の付いたボルトを回すことによりレベル調整が可能です。



3. 材 料

3-1 材料

品 名	材 質
プラホレン 0A	ナット：特殊樹脂 ボルト：特殊樹脂 合板：J A S 普通合板 1 類 F☆☆☆☆ 15 mm ストッパー：特殊樹脂（0～3 Aは無し）
プラホレン 1A	
プラホレン 2A	
プラホレン 3A	
プラホレン 4A	
プラホレン 5A	
プラホレン 6A	
プラホレン 7A	
プラホレン 8A	

3-2 捨張合板仕様

仕上げ材種類	床パネル	捨張合板
木質フローリング	合板 15 mm、24 mm またはパーティクルボード 20 mm (JIS M18 タイプ)	不要
直張りフロア		合板 5.5 mm以上
長尺塩ビシート・ カーペット		合板 5.5 mm以上
畳		不要

※住宅用途以外に使用する場合は、捨張合板の厚みについて別途ご相談ください。

※床パネルにパーティクルボードを使用し、床暖房マットを設置する場合や
無垢材フローリング仕上げの場合は、捨張合板厚 12 mmを施工してください。

※二重床に対してフローリングメーカー施工要領書に記載がある場合はそちらを
優先してください。

3-3 床高さ調整範囲

品名	プラホレン調整範囲 台板天端 (mm)
プラホレン 0A	31~40
プラホレン 1A	37~51
プラホレン 2A	46~63
プラホレン 3A	59~83
プラホレン 4A	74~102
プラホレン 5A	97~146
プラホレン 6A	124~175
プラホレン 7A	147~215
プラホレン 8A	194~275

4. 施工手順

① きわ根太の確認

- ・必要箇所にきわ根太が取り付けしており、高さも適当かをチェックする。
この時、きわ根太と配管の高さについてもチェックする。
- ・きわ根太及び束が接する面に接着剤が塗布されているか。
- ・きわ根太が確実に取り付けられているか。

(きわ根太を片足で押さえタワミ・スレ音等がないか確認して下さい。)

② コンクリート床面の清掃確認

- ・コンクリート床面を清掃し、極端な凹凸のある場合は修正を依頼する。

③ 墨出し

- ・施工割付図に従って、床面に墨出しします(プラ木レンは、455 mm ピッチ以内)

④ プラ木レンの接着

- ・コンクリートスラブ面にホコリ、ノロなどがあると接着されません。
必ずホコリ、ノロは取り除いて下さい。
(接着方法) プラ木レンとコンクリート面にスーパーUダインN (接着剤) を両方あわせて 60g 程度塗布し、スラブ面に圧着します。

⑤ 養生

- ・プラ木レン接着後は動かさないようにして、硬化するまで養生して下さい。

⑥ レベル調整

- ・プラ木レンのボルトを回してレベルを調整します。
(最大調整範囲を超えた施工はしないで下さい。)

⑦ ストッパーのしめつけ (4A~8A)

- ・レベル調整後、専用冶具でストッパーをしめつけて固定します。

⑧ 床パネル (合板 15 mm 又はパーティクルボード 20 mm) の固定

- ・床パネルを台板にビス (合板 15 mm を使用する場合は、全ネジビス 32 mm、合板 24 mm・パーティクルボード 20 mm を使用する場合はビス 38 mm) にて固定します。

床パネルの目地部はプラ木レン 1 個に対して 4 箇所ビス止め、床パネル中央部は 2 箇所ビス止めとします。(パネルの隙間は 2~3 mm 程度とします。)



⑨捨張合板の施工

- ・薄物仕上げ等捨張合板が必要な場合

床パネルと捨張合板の目地が合わないよう割付けます。この時床パネルと捨張合板のかかり寸法は150mm以上とします。

5. 5mm捨張合板の固定はマックス社製のステープル725M相当品にて固定します。(6列×9列=54本以上/3×6尺合板1枚)。

⑩仕上げ材の施工

●床先行で施工する場合の間仕切り位置の補強

- ・打ち合わせの段階で間仕切り位置は決定し、それに合わせた割付図を作成、提出するようしてください。
- ・施工時に間仕切り位置がスラブに墨出しされていることを確認してください。
- ・床パネルのプラ木レンの補強は455mm以内です。

5. 施工検査表

検 査 内 容	検 査 結 果
レベルが出ているかを確認する。 (3/1000 mm以内)
壁廻り、柱廻りとの取り合いを確認する。
立ち上がり配管が、接触していないかを確認する。
ボルトの調整忘れがないかを確認する。
きわ根太やプラ木レンの接合部への固定が正しく施工されているかを確認する。
床パネル敷設後、上を歩き床鳴りがないかを確認する。